

番組審議会 第652回

開催日 2021年9月13日(月)

■委員の出席

委員総数 10名
出席委員数 10名

出席者	委員長	音	好	宏					
	副委員長	中	江	有	里				
	委員	江	澤	佐	知子	尾	縣	貢	
		萱	野	稔	人	喜	田	村	洋一
		佐	藤	智	恵	長	嶋	有	
		藤	原	帰	一	水	無	田	気

TBSテレビ	佐々木	社	長	
	渡	辺	常務取締役	
	伊	佐	野	常務取締役
	岩	田	取締役	
	瀬	戸	口	編成局長
	竹	内	報道局長	
	山	岡	報道局	統括編集長
	金	富	報道局	制作プロデューサー
	佐	藤	報道局	番組プロデューサー
	中	田	編成	考査局長
	村	田	編成	考査局視聴者サービス部長
	天	野	番組	審議会事務局長

■議事概要

- 審議事項
 - 『戦後76年「つなぐ、つながる」SP
へいわとせんそう～戦場からのメッセージ～』
8月15日(日)15:30～17:00放送について
 - その他
- 報告事項
 - 2021年度下期の編成方針
- 事務局報告事項

- (1) 視聴者からの声について
- (2) 次回審議会の議題及び日程について

【委員の主な意見】

(『戦後76年「つなぐ、つながる」SP』について)

- 五輪とコロナ報道一色の中、民放では唯一、8月15日に戦争特番を放送した。これには、非常に大きな社会的意義がある。TBSはこれからも、何があろうと、ずっと戦争を伝え続けるという、局としての強い意志を感じた。
- 編成を含めた要望として、報道・情報以外を巻き込んで、全局を挙げて、戦争の記憶をつなごうというメッセージが出せなかったのか。震災10年では、報道・情報に、「音楽の日」が加わって、とても良かった。戦争では、TBSには「さとうきび畑の唄」や「百年の物語」など、優れた戦争ドラマも数多くある。
- 今に生きる息子が、戦死した父の遺書を科学的に解明し、メッセージを受け取る場面など、とても感動的で、「つなぐ、つながる」が、よく表現されている番組だった。
- 戦争体験世代が減少する中、生きている人たちを取り上げなければ、テレビ的に画にならないという図式から、脱却しなければならない。その点では、元兵士の日記の復元など、非常に良い試みだった。
- 出演者の発言テロップについて。TBSに限らずNHKでも、発言を簡潔に直してテロップにするが、“違っているな”と思う瞬間がある。判りやすく変える作業を何度も繰り返すと、発言の意図がずれていくのではないか。
- 小川キャスターが、戦争を伝える難しさを感じると述べたように、視聴者にどのように伝えることができるのか、伝えることが何なのか、自ら見直さなければいけない。その作業がきちんとされた番組で、これまでのTBSの戦争特番の中で、トップクラスの訴求力があつた。
- 被害者の悲惨さといったエモーショナルな部分だけでなく、どうしてこの戦争に突き進んだのか、今後繰り返さないためにどうすれば良いのか、というファンクショナルな部分もあわせ、読み解く必要があるのではないか。

□りゅうちえるさんの出演は意外だったが、とても真面目な沖縄出身の青年で、自分の言葉で語ろうとする、真摯な姿勢が非常に良かった。

□鴨下信一さんがかつて、徹底的にディテールにこだわるのが、今後の戦争の描き方ではないかと言った。今回の番組は、まさに徹底的にディテールにこだわろうとしたことが、良かったのではないか。

□昨年の戦争特番で、コロナ禍で様々なトライアルをした。そこで思考停止せず、試行錯誤して今年の戦争特番があり、とても好感を持った。来年も期待したい。

* T B S では、番組審議会委員のご意見を真摯に受け止め、今後の番組内容の向上に活かしていく所存です。(T B S テレビ番組審議会事務局)